

## 高市内閣府科学技術政策担当大臣及び上坂原子力委員会委員長海外出張報告

令和5年10月31日

内閣府原子力政策担当室

### 1. 出張先

オーストリア共和国(ウィーン)

### 2. 出張期間

令和5年9月23日(土)～27日(水)

※上坂委員長は令和5年9月23日(土)～28日(木)

### 3. 渡航目的

ウィーンで開催される第67回国際原子力機関(IAEA)総会に政府代表として出席し、一般討論演説を行うとともに、各国の原子力部門要人及びIAEA高官との意見交換、日本国政府代表及び在ウィーン国際機関日本政府代表部大使主催レセプションでの挨拶、日本ブースオープニングセレモニーでの挨拶等を行う。

### 4. 主要日程

9月23日(土)東京発 →

24日(日)ウィーン着

25日(月)～27日(水)

IAEA総会出席(政府代表演説)

各国原子力部門要人及びIAEA高官との意見交換

日本国政府代表及び在ウィーン国際機関日本政府代表部大使主催レセプション挨拶

日本ブースオープニングセレモニー挨拶 等

27日(水)東京着 ※上坂原子力委員会委員長は28日(木)東京着

### 5. IAEA総会

第67回総会は、ヴィラワン・マンクナカラークル氏(タイ)を議長に選定して開催された。グテーレス国連事務総長のメッセージが紹介されたのち、グロッシー事務局長より以下の陳述があった。

- ✓ カーボベルデ共和国、ギニア共和国、ガンビア共和国の新規加盟及びIAEA加盟国が計178か国となることを歓迎。
- ✓ ボツワナでの公的放射線治療センターの開設を含む”Rays of HOPE”(放射線

がん治療・診断に関するイニシアチブ)の取組の紹介と各国の支援への感謝とさらなる支援の奨励

- ✓ ZODIAC(統合的人畜共通感染症行動)イニシアチブ支援を奨励
- ✓ 東電福島第一原子力発電所のALPS処理水の放出に関して、IAEA が東京電力福島第一原子力発電所に事務所を開設し、放出されたALPS処理水のデータについて、放出の全期間にわたって、独自に収集、評価、報告し続けることを表明。等

2023年12月で任期満了を迎えるグロッシー事務局長について、再任の承認が行われた(任期は4年)。

その後各国の一般討論演説が行われた。日本は、高市大臣が、北朝鮮の核・ミサイル問題を含む核不拡散、ウクライナの原子力施設、原子力の平和利用、ALPS処理水の海洋放出を含む東京電力福島第一原子力発電所の廃炉等について演説を行った。

各国の演説原稿はIAEAのホームページに掲載されている。

## 6. IAEA総会期間中のバイ会談

【高市内閣府科学技術政策担当大臣が政府代表として実施】(酒井経済産業省副大臣、上坂原子力委員会委員長、引原在ウィーン国際機関日本政府代表部大使等同席)

### (1)IAEA グロッシー事務局長

・高市大臣より、冒頭、ALPS処理水に係るIAEAの客観的・専門的で透明性のある取組を含むグロッシー事務局長の強いリーダーシップへの敬意と、核不拡散と原子力平和利用の促進に関するIAEAの取組への支持を表明。

特に、ALPS処理水の海洋放出に関しては、IAEA職員が福島に常駐し、安全性を迅速に確認していること、放出開始以降、世界各国に対して透明性高く迅速にモニタリング結果を公表していること、また、事務局長自身の言葉でこれらのIAEAの取組やALPS処理水の安全性についてわかりやすく発信するなど、グロッシー事務局長をはじめとするIAEAの取組に感謝するとともに一層の連携を図りたい旨言及。

・高市大臣とグロッシー事務局長との間で、ALPS処理水に関する連携などについて意見交換を行い、引き続き連携を行うことで一致した。

### (2)米国 フルービー国家核安全保障庁長官

・高市大臣より、冒頭、日米両国のエネルギー分野を含む原子力の平和的利用、核不拡散及び核セキュリティ分野におけるパートナーシップについて確認を行うとともに、日本のALPS処理水放出への支持の感謝等について言及。

- ・高市大臣とフルービー長官との間で、核セキュリティをはじめとした原子力分野に関する日米協力等について意見交換を行い、両国の協力関係を一層強化することで一致した。

(3) 仏国 ジャック原子力・代替エネルギー長官

- ・高市大臣より、冒頭、日仏両国が核燃料サイクル政策を含む掲げ、原子力の平和利用のため長期にわたり協力関係を構築してきた旨言及するとともに、日本のALPS処理水放出への支持の感謝等について言及。

- ・高市大臣とジャック長官との間で、新型転換炉原型炉「ふげん」を含む日本国内の研究炉等で発生した使用済燃料の再処理を仏国内で再処理することを可能とするため、日仏の政府間において書簡交換を交わしたことや原子力エネルギーに関する日仏委員会に向けた対応などについて意見交換を行い、当該分野における両国間のパートナーシップをさらに拡大していくことで一致した。

【原子力委員会委員長の職務として実施】

(4) 英国 ボウエネルギー安全保障・ネットゼロ省担当大臣

- ・上坂委員長より日本のALPS処理水放出への支持の感謝等について言及するとともに、日本の原子力政策の現況について説明。

- ・上坂委員長とボウ大臣との間で、東電福島原子力発電所の廃炉や高温ガス炉、医療用ラジオアイソトープ等、日英の原子力協力の強化について意見交換を行った。

(5) スウェーデン ウェスレン気候環境副大臣

- ・上坂委員長より日本のALPS処理水放出への支持の感謝等について言及するとともに、日本の原子力政策の現況について説明。

- ・上坂委員長とウェスレン副大臣との間で、最終処分をはじめとした両国の原子力政策について意見交換を行った。

(6) 欧州委員会 ガリバエネルギー総局次長

- ・上坂委員長より日本のALPS処理水放出への支持の感謝等について言及するとともに、日本の原子力政策の現況について説明。

- ・上坂委員長とガリバ次長との間で、最終処分や革新炉をはじめとした日本とEUの原子力政策について意見交換を行った。

(7) IAEA原子力科学・応用局 モクータル事務次長

- ・上坂委員長より、日本の医療用ラジオアイソトープに関する取組等について紹介す

るとともに、モクタル事務次長との間でIAEAとの連携強化について意見交換を行った。

(8)IAEA原子力安全・核セキュリティ局 エブラール事務次長

・上坂委員長より日本のALPS処理水放出について、IAEAの分析や情報発信について感謝するとともに、エブラール事務次長との間で今後の東電福島第一原子力発電所の廃炉に向けたIAEAとの連携強化等について意見交換を行った。

(9)IAEA原子力保障措置局 実施B部 桐生部長

・上坂委員長と桐生部長との間でIAEAの保障措置対応や国際機関における日本人の活躍等について意見交換を行った。

(10)IAEA原子力エネルギー局 計画・情報・知識管理部 フアン部長

・上坂委員長とファン部長の間で、IAEA原子力マネジメントスクールの日本の開催状況や今後の人材育成の取組等について意見交換を行った。

(11)IAEA原子力安全・核セキュリティ局 放射線・輸送・廃棄物安全部 放射線安全モニタリング課 ピナック課長

・上坂委員長とピナック課長との間で、福島におけるIAEAと日本の連携強化について意見交換を行った。

## 7. その他

○高市大臣及び引原在ウィーン国際機関日本政府代表部大使は、原子力の平和利用を通じたグローバルな課題への我が国の貢献や、東電福島第一原子力発電所対応、福島復興等について国際的な理解の増進を図るためのレセプションを主催。高市大臣は、レセプションの開催に当たり、ALPS処理水の安全性や福島復興についてスピーチを行った。また、酒井経済産業省副大臣、引原大使から挨拶を行った。

○高市大臣は、日本の政府や企業の取組を紹介する日本ブースオープニングセレモニーでALPS処理水の安全性についての紹介や日本の原子力政策、民間企業の技術開発についての期待についてスピーチをおこなった。

○上坂委員長は日本原子力研究開発機構が主催するIAEA総会サイドイベント「カーボンニュートラル社会の実現に向け、多様な応用の可能性に関し一層認識される高温ガス炉の役割」において、日本の高温ガス炉の技術力の高さと今後の国際協力を含み取組への期待についてスピーチを行った。